

# 『IVUSカテーテルのスタックの発生率、対応、予測因子について』 に対するご協力をお願い

研究の目的と意義	経皮的冠動脈形成術（以下P C I）では大多数の症例で血管内超音波（IVUS）カテーテルを使用しています。この機器の合併症の一つとして、冠動脈内で抜去不能となることがあります。稀な合併症ですが、起こると重大な事象となります。これまで本合併症についてまとまった報告がなく、これを当院の治療歴から調査を行います。
研究の方法	2007年4月から2022年12月までの期間で当院でP C Iを施行された患者さんについて、単施設後ろ向き観察研究で実施します。
対象者	西暦2007年4月1日～2022年12月31日の間に、当院でP C Iを施行された患者さん
利用する試料/情報	試料：なし 情報等：診断名、治療歴、年齢、性別、既往歴、血管内治療内容、生理検査歴
利用する試料/情報の取得方法	当院の電子カルテより情報を収集します。
利用する試料/情報の管理責任者・住所	済生会横浜市東部病院 院長 〒230-8765横浜市鶴見区下末吉3-6-1
研究組織	「当院単独研究」
試料/情報の院外提供	該当なし
結果公表	雑誌へ投稿を予定しています。
研究参加拒否・同意撤回	情報等を研究目的に利用されることを希望されない場合または一度研究参加に同意された後に同意を撤回される場合は、西暦2024年8月31日までに下記の問い合わせ先にご連絡ください。
当院研究責任者	済生会横浜市東部病院 循環器内科/医員/岸田登志彦
問い合わせ先	〒230-8765横浜市鶴見区下末吉3-6-1 電話045-576-3000(代表) 済生会横浜市東部病院 循環器内科/医員/岸田登志彦